

平成23年3月15日
九州地方整備局
東北地方整備局

東北地方太平洋沖地震の救援活動を行うため 大型浚渫兼油回収船「海翔丸」が仙台塩釜港に入港

東北地方太平洋沖地震の救援活動を行うため、九州地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「海翔丸」が、3月12日(土)に基地港の北九州港を出港し、横須賀港にて資機材を追加積載のうえ、3月16日(水)に仙台塩釜港に入港予定です。

入港に当たっては、航路・泊地に障害物がないことを確認のうえ、十分安全に留意します。
着岸後、資機材等の積み卸しを行い、その後、被災地域での災害復旧の支援拠点本部として、港湾の復旧活動の支援や、流出した油を発見した際に回収作業を実施します。

1. 「海翔丸」の概要

【概要】 日本最大級の最新鋭浚渫兼油回収船。海底の土砂を吸い上げ航路を整備する「浚渫」と、事故等で海に流出した油を取り除く「油回収」の機能を有する。

【所属】 九州地方整備局 関門航路事務所（基地港；北九州港）

【諸元】 総トン数 4,651トン、全長103m、最大速力13.3ノット、乗組員28名

2. 資機材等

- ・ 発動機付き投光器セット21台
- ・ 飲料水、非常食、非常用品

3. 出動行程

- ・ 3月12日(土)12:45 北九州港出港
- ・ 3月14日(月)9:00 横須賀港入港
- ・ 3月14日(月)15:55 横須賀港出港
- ・ 3月16日(水)午後 仙台塩釜港入港予定



【問い合わせ先】
九州地方整備局

港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課

課長：池田 正彦
課長補佐：村上 真彦

電話：092-418-3375

FAX：092-418-3054